

## 英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(水土2)

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能のうち「聴く」、「話す」を重点的に学習していく。到達目標は以下の4点である。

- (1) 平易な短い英文を読み、その内容を的確に理解できる。
- (2) 英文読解の質問に英語で答えることができ、会話文を英語で書くことができる。
- (3) 様々な状況で取り交わされる英語の内容を聞き取ることができる。
- (4) 英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝えることができる。

## 【授業の展開計画】

\*学生の理解度を高めるために、テキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、前後したり、削除されるユニットがあるかもしれない。

\*\*テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1 (1) : Introduction
3	テキストUnit 1 (2) : Introduction
4	テキストUnit 2 (1) : What a life!
5	テキストUnit 2 (2) : What a life!
6	テキストUnit 3 (1) : Free time
7	テキストUnit 3 (2) : Free time
8	中間試験
9	テキストUnit 4 (1) : Places
10	テキストUnit 4 (2) : Places
11	テキストUnit 5 (1) : Getting around
12	テキストUnit 5 (2) : Getting around
13	テキストUnit 6 : Shopping
14	テキストUnit 7 : What's happening
15	英会話テスト
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

- (1) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい。)
- (2) 予習・復習をすること。
- (3) グループ学習の際には、互いに協力しあって、積極的に取り組むこと。

## 【評価方法】

中間・期末試験 : 70% (到達目標 1, 2, 3)  
 英会話テスト : 20% (到達目標 2, 4)  
 授業への参加度 : 10% (到達目標 1, 2, 3, 4)

## 【テキスト】

Breakthrough PLUS 1  
 (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2013年)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語 I

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律(水土1) 地環(水土2)

## 【授業のねらい】

英語 I (地域環境・水土2限)においては、専攻に配慮したテキスト「BBC World Profile on DVD」を使用し、それぞれ、リスニング→スピーキング、リーディング→ライティングというインプットとアウトプットのペアを意識しながら、初級英語の基礎の確立を目指す。映像、音声、字幕を同時にインプットできるビデオ教材の特長を活かし、リスニングとスキミングの強化を目指しつつ、文化的な興味や好奇心をインセンティブとして、持続的な学習の習慣を身につけたい。また、ラボ教室においては、ペアワークを中心としたコミュニケーション能力の強化を図る。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	4/8 Introduction / Self-introduction	17	6/13 BBC WPD : Unit 7 Speaking
2	4/11 Call-Lab Orientation	18	6/17 BBC WPD : Unit 8
3	4/15 BBC WPD :Unit 1 Laughter	19	6/20 BBC WPD : Unit 8 Speaking
4	4/18 BBC WPD :Unit 1 Speaking	20	6/24 "Food Inc." or 「モンサント」
5	4/22 BBC WPD :Unit 1 Review	21	6/27 "Food Inc." or 「モンサント」
6	4/25 "Patch Adams"	22	7/1 BBC WPD : Unit 8 Discussion
7	4/29 "Patch Adams" Discussion	23	7/4 BBC WPD : Unit 9 Speaking
8	5/9 BBC WPD : Unit 4 Speaking	24	7/8 BBC WPD : Unit 9
9	5/13 BBC WPD : Unit 4	25	7/11 BBC WPD : Unit 9 Review
10	5/16 BBC WPD : Unit 5	26	7/15 BBC WPD : Unit 10
11	5/23 BBC WPD : Unit 5 Speaking	27	7/18 BBC WPD : Unit 10 Speaking
12	5/27 BBC WPD : Unit 6	28	7/22 BBC WPD : Unit 10 Review
13	5/30 BBC WPD : Unit 6 Speaking	29	7/25 BBC WPD : Final Examination
14	6/3 Review : Units 1, 4, 5, 6	30	7/29 Memorization / Make-up Test
15	6/6 Mid-term Examination: Units 1, 4, 5, 6	31	8/1 Memorization / Make-up Test
16	6/10 BBC WPD : Unit 7		

## 【履修上の注意事項】

辞書は電子辞書か紙媒体の辞書を使用し、携帯電話での辞書使用は極力避けること。授業中の携帯電話使用は厳禁。発見された場合、授業終了時まで教卓において一時預かりとする。前期は全員英語による一分間スピーチがあるので、トピック(主題)を考えておくこと。遅刻3回は、欠席1回とみなし、10回以上の欠席は不可とする。

## 【評価方法】

Mid-term Examination + Final Examination = 50%  
 Homework(Online Search and Writing) =30%  
 Speech =10%  
 Contributions to Class =10%

## 【テキスト】

BBC World Profile on DVD-やさしい英語と映像で学ぶ総合英語 (南雲堂) 2014

## 【参考文献】

特に指定はないが、各自必要に応じて、文法やボキャビルなどの参考書を積極的に使用し、自主学習で自分の不得意な分野を補うことが望ましい。

## 英語 I

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1) 産情(火金2)

## 【授業のねらい】

大学生として必須の英語力（語彙、文法）を身につけながら、リスニングとスピーキングの基礎力を養成する。週一回のラボ室では、全学教材のViva!San Franciscoの学習や様々なメディア教材を用いて、異文化理解を深めつつ実践的な聴解力の向上をめざし、もう一方の普通教室では上記の語彙や文法を中心の学習を行いながら、その履修内容を発話（スピーキング）につなげ基本的なコミュニケーション力を培う。

## 【授業の展開計画】

（以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週一回はCALL教室での授業となる）英語基礎力とは、授業のねらいに記したところの大学生として必須の英語力である語彙、文法のことである。学習内容の定着を確実にするため、小テストおよび定期的なテストを行う。また、学期末に、本クラスでの学習の集大成としてスピーキングテストを行う。（なお、以下の各回の学習内容は、進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること）

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	ラボ室学習 Viva!7回目、他
2	英語自己紹介 他	18	英語基礎力養成1-6中間点検
3	ラボ室利用オリエンテーション Viva!Ch1	19	ラボ室学習 Viva!8回目、他
4	英語のしくみ（概要） 他	20	英語基礎力養成7
5	ラボ室学習 Viva!1回目、他	21	ラボ室学習 Viva!9回目、他
6	英語基礎力養成1	22	英語基礎力養成8
7	ラボ室学習 Viva!2回目、他	23	ラボ室学習 Viva!10回目、他
8	英語基礎力養成2	24	英語基礎力養成9
9	ラボ室学習 Viva!3回目、他	25	Viva! 全体学習定着点検（テストも含む）
10	英語基礎力養成3	26	英語基礎力養成10
11	ラボ室学習 Viva!4回目、他	27	スピーキングテスト関連1
12	英語基礎力養成4	28	英語基礎力養成11
13	ラボ室学習 Viva!5回目、他	29	スピーキングテスト関連2
14	英語基礎力養成5	30	英語基礎力養成7-11期末点検 他
15	ラボ室学習 Viva!6回目、他	31	総点検：スピーキングと英語基礎力養成
16	英語基礎力養成6		

## 【履修上の注意事項】

○受講に際しては英和と和英辞典（電子辞書）を必携のこと（抜き打ち辞典チェックをします） ○語学は能動的に学習しなければ力はつきませんので、クラスでも能動的および積極的に参加してください。 ○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する ○英語 I では学生は大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録が行えても、実際は登録は認められません。

## 【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

## 【テキスト】

1Viva!San Francisco大八木廣人他マクミランゲージハウス(ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし) 2講師指定の教科書(オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で必ず購入すること) 3講師作成配布のStudy Guide

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文(水4土3)

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。観光ガイドに必要な日本文化や風物に関する英会話を聴いて練習して、各グループで独自の英会話文を作って発表し英語での質疑応答ができるようにする。テキストの語彙、和文英作、観光に関する練習問題などもこなして技能の向上をはかる。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、楽しみながら英語が聴き取れるようになることを目指す。

## 【授業の展開計画】

\*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

\*\*テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストLesson 1
3	テキストLesson 2-3
4	テキストLesson 4-5
5	テキストLesson 6-7
6	テキストLesson 8
7	テキストLesson 9
8	中間試験
9	テキストLesson 10
10	テキストLesson 11-12
11	テキストLesson 13-14
12	テキストLesson 15-16
13	テキストLesson 17
14	テキストLesson 18
15	英会話テスト
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

## 【評価方法】

中間・期末試験 : 70%  
 英会話テスト : 20%  
 授業への参加度 : 10%

## 【テキスト】

Tourism English (「観光英語で日本案内」)  
 (英宝社、2007)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語 I

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2~4年次対象 法・地行（月木5）

## 【授業のねらい】

CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニング及びスピーキングの基礎的な力をつけていくことを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 1~5	17	Viva! San Francisco Chapter 6~10
2	Viva! San Francisco Chapter 1~5	18	Viva! San Francisco Chapter 6~10
3	Viva! San Francisco Chapter 1~5	19	Viva! San Francisco Chapter 6~10
4	Viva! San Francisco Chapter 1~5	20	Viva! San Francisco Chapter 6~10
5	Viva! San Francisco Chapter 1~5	21	Viva! San Francisco Chapter 6~10
6	Viva! San Francisco Chapter 1~5	22	Viva! San Francisco Chapter 6~10
7	Viva! San Francisco Chapter 1~5	23	Viva! San Francisco Chapter 6~10
8	Viva! San Francisco Chapter 1~5	24	Viva! San Francisco Chapter 6~10
9	Viva! San Francisco Chapter 1~5	25	Viva! San Francisco Chapter 6~10
10	Viva! San Francisco Chapter 1~5	26	Viva! San Francisco Chapter 6~10
11	Viva! San Francisco Chapter 1~5	27	Viva! San Francisco Chapter 6~10
12	Viva! San Francisco Chapter 1~5	28	Viva! San Francisco Chapter 6~10
13	Viva! San Francisco Chapter 1~5	29	Viva! San Francisco Chapter 6~10
14	Viva! San Francisco Chapter 1~5	30	Viva! San Francisco Chapter 6~10
15	Viva! San Francisco Chapter 1~5	31	期末テスト
16	中間テスト		

## 【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

## 【テキスト】

- Viva! San Francisco (MACMILLAM LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
- FIFTY-FIFTY A speaking and listening course Book One Third Edition (PEARSON Longman)  
受講者全員、必ず購入すること。

## 【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

## 英語 I

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

## 【授業のねらい】

普通教室での授業の日は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、日常頻繁に使われる基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで記憶の確認を行う。CALL教室での授業の日は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、言語障害をも克服できると言われる「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがこのコースの狙いである。

## 【授業の展開計画】

週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。前期は、Scene4, 6, 7, 10, 13, 14, 17, 18, 20, 22, 27, 30, 35, 36を順に学習していく。

また、別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter1から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。さらに時々、歌い易い洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

## 【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

## 【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)30%、小テスト(洋楽)40%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

## 【テキスト】

出版社の都合で、テキストが手に入りにくい場合、毎回教材プリントを配布する。

## 【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

## 英語 I

担当教員 宮平 勝行

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 経済・環境・企シ・産情（月木5）

## 【授業のねらい】

英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの教育目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって、大学生としての教養と英語力を高めます。

## 【授業の展開計画】

週	授業の内容	週	授業の内容
1	オリエンテーション	17	4. Unusual Destination, Day 4
2	1. Same and Different, Day 1	18	中間テスト
3	1. Same and Different, Day 2	19	5. Our Changing World, Day 1
4	1. Same and Different, Day 3	20	5. Our Changing World, Day 2
5	1. Same and Different, Day 4	21	5. Our Changing World, Day 3
6	2. Taking Risks, Day 1	22	6. Facing Challenges, Day 1
7	2. Taking Risks, Day 2	23	6. Facing Challenges, Day 2
8	2. Taking Risks, Day 3	24	6. Facing Challenges, Day 3
9	2. Taking Risks, Day 4	25	7. Lost and Found, Day 1
10	3. Enjoy the Ride, Day 1	26	7. Lost and Found, Day 2
11	3. Enjoy the Ride, Day 2	27	7. Lost and Found, Day 3
12	3. Enjoy the Ride, Day 3	28	8. A New View, Day 1
13	3. Enjoy the Ride, Day 4	29	8. A New View, Day 2
14	4. Unusual Destination, Day 1	30	8. A New View, Day 3
15	4. Unusual Destination, Day 2	31	期末テスト
16	4. Unusual Destination, Day 3		

## 【履修上の注意事項】

学期中、1/3（10回）以上授業を欠席した場合は、自動的に不可の成績となります。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなすので注意しましょう。やむを得ぬ理由で授業に出席できない学生は、事前に電話（098-895-8303）もしくは電子メール（ptt900@okiu.ac.jp）で申し出てください。事前の申し出がない限り追試などは行いません。また、事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。

## 【評価方法】

クイズ（5～7回、20%）、中間テスト（30%）、期末テスト（30%）、受講態度及び授業への貢献度（20%）で評価します。

## 【テキスト】

Fettig, Cindy & Kathy Najafi. (2013). Pathways Foundations: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Heinle-Cengage ELT.

## 【参考文献】

教員が用意するハンドアウト教材。英和辞書、和英辞書、英英辞書（電子辞書を含む）。

## 英語 I

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、簡単な読み物の音読、多様なリスニング教材のシャドーイング練習（聞き取った音声をすぐに声にだす）を通し聞き取り易い標準的な英語の発音やイントネーションを意識すると共に、異なる英語のアクセントにも慣れる事を目標とします。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション & Skill Check	17	L&SP 6
2	Viva! San Francisco Ch.1 (VSF 1)	18	VSF 7
3	Listening & Speaking Practice 1 (L&SP1)	19	L&DP 7
4	VSF 2	20	VSF 8
5	L&SP 2	21	L&S P8
6	VSF 3	22	VSF 9
7	L&SP 1-2 Test	23	L&SP6-8 Test
8	VSF 1-3まとめ	24	VSF7-9 まとめ
9	L&SP 3	25	L&SP Review 1
10	VSF 4	26	VSF 10
11	L&SP 4	27	L&SP Review 2
12	VSF 5	28	VSF 発表
13	L&SP 5	29	L&SP 期末まとめ
14	VSF 6	30	期末テスト
15	L&SP Test 3-5	31	テスト結果及び評価発表
16	VSF4-6まとめ		

## 【履修上の注意事項】

- \*期末テスト以外に、3回の小テスト、毎回の授業の際にクイズを実施します。
- \*毎回、英和辞典を授業に持参して下さい。

## 【評価方法】

火曜日Speaking & Listening Practiceのクラスは3回のテスト、期末テスト、課題提出状況、を中心に評価する。又、クラスのアクティビティー（ペアワーク・グループワーク）の際の貢献度、学習態度、出席率等も評価の対象となります。金曜日ラボはスキットを台本なしに発表してもらいそのパフォーマンスを評価します。授業の度に行われるディクテーションクイズも評価の対象となります（講義を休んだ場合は次の回にまとめて発表する）

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要はありません）
2. Interchange Level 1 Student's Book with Self-study DVD-ROM.

## 【参考文献】

授業の中で紹介します。

## 英語 I

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語I指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書(English Sound Box)やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

## 【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、別の教科書(English Sound Box)やプリントを使って基礎的なリスニングやスピーキング力の向上を目指し、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

## 【評価方法】

出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。  
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco, Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell (Macmillan) 2000円(税別)
2. English Sound Box 大塚朝美、上田洋子、Kathy Maruyama, 今井由美子 (金星堂) 1950円(税別)

## 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語 I

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

## 【授業のねらい】

積極的に英語でコミュニケーションを行うことを目標に、コンテンツベース（文化、言語、歴史、教育問題等）で知的好奇心を刺激しながら、「聴く・話す」の英語運用能力および技能を向上させる。ペアワークやグループワークのアクティビティを通して、相手との関係を円滑にする、気持ちを伝える、事実を伝える、考えや意図を伝える、相手の行動を促すコミュニケーション・スキル（会話、意見交換、スピーチ等）の獲得を目指し、英語の理解力と表現力を向上する。

## 【授業の展開計画】

(変更する場合があります)

- 1週目 Orientation: What is communication? 【Family】
- 2週目 Language& Communication: Who am I? 【Food / Time】
- 3週目 Language, Culture, Communication: Hawaiian Renaissance 【House&Home / Music】
- 4週目 Art Communication: Music / Hip-Hop for Peace, Samba Reggae 【Transportation/ Sports】
- 5週目 Art Communication: Okinawan Hip-Hop 【Numbers / Best Friends】
- 6週目 Nonverbal Communication 地域の行事と子どもの遊び、〇〇選手 【TV / Work】
- 7週目 Identity: Pidgin English, English as International Language 【Vacation / School】
- 8週目 Public Relations ①考えや意図を伝える ②相手の行動を促す 【Movies / Money】
- 9週目 Review・Mid-Term Examination
- 10週目 Public Speech 問題意識の共有化、明確化: バンカーロイ「裸足の学校」 【Animals / Shopping】
- 11週目 Public Speech 問題意識の共有化、明確化: マララさんの訴え 【Restaurants】
- 12週目 Comedyお笑い: ハワイの場合 【Travel / Books, Magazines & Newspapers】
- 13週目 Comedyお笑い: 沖縄の場合 【Sickness / Holidays】
- 14週目 Vision「多文化」共生の在り方 【Fears / Dating】
- 15週目 Vision「多文化」共生の在り方 【Marriage / belief】
- 16週目 学期末テスト: 振り返り

## 【履修上の注意事項】

- ・ペアワーク、グループワークができること。
- ・辞書を持参すること。
- ・各自の責任で宿題をする時間を確保すること。
- ・10回欠席は不可。3回遅刻で1回の欠席。

## 【評価方法】

テスト70%（2回）、課題10%、授業への参加・貢献10%（おしゃべりは減点対象）、出席10%（遅刻10分以内、それ以降は欠課）

## 【テキスト】

ファイルつづり or ノート（A4以上がいい）用意してください。プリント配布します。

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)、経済(水土2)

## 【授業のねらい】

ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、英語によるコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation	17	Exam Review
2	Call 教室 Orientation	18	Good Morning World Unit 4
3	Good Morning World Unit 1	19	Good Morning World Unit 4
4	Viva! San Francisco Chap 1	20	Viva! San Francisco Chap 6
5	Good Morning World Unit 1	21	Good Morning World Unit 5
6	Viva! San Francisco Chap 2	22	Viva! San Francisco Chap 7
7	Good Morning World Unit 2	23	Good Morning World Unit 5
8	Viva! San Francisco Chap 3	24	Viva! San Francisco Chap 8
9	Good Morning World Unit 2	25	Good Morning World Unit 6
10	Viva! San Francisco Chap 4	26	Viva! San Francisco Chap 9
11	Good Morning World Unit 3	27	Good Morning World Unit 6
12	Viva! San Francisco Chap 5	28	Viva! San Francisco Chap 10
13	Good Morning World Unit 3	29	Oral Quiz 2
14	Oral Quiz 1	30	Final Exam
15	Review	31	Class Review
16	Midterm Exam		

## 【履修上の注意事項】

週2回のクラスの1回をCall 教室で行いListeningや会話を中心に学習する。また、もう1回を普通教室で行い、平易なReadingや基本的な英文法を学習しながら授業を進め、英語の基礎力向上を図る。プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

## 【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 20%  
Oral Quiz 20% 中間・期末試験 50%

## 【テキスト】

Good Morning World 2 (CENGAGE Learning)  
It's Time to Read! (NAN' UN-DO)  
Viva! San Francisco (購入の必要はありません)

## 【参考文献】

辞書は必ず持参すること

## 英語 I

担当教員 富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 対象：地域環境（水土2） 日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

英語でのコミュニケーション能力、特に「聴く」「話す」の能力を重点的に養成する。水曜日は、Call教室にて“Viva! San Francisco”を学習し、クイズを行う。土曜日はテキストを使用する。語学の学習においては、学生が積極的に発言することが重要であるため、講義への貢献度を重視する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	クラス オリエンテーション
2	Text Unit 1 & Viva Chapter 1
3	Text Unit 1 & Viva Chapter 2
4	Text Unit 1 & Viva Chapter 3
5	Text Unit 2 & Viva Chapter 4
6	Text Unit 2 & Viva Chapter 5
7	Text Unit 2
8	Review text Unit 1 and 2 & Mid-term examination
9	Text Unit 3 & Viva Chapter 6
10	Text Unit 3 & Viva Chapter 7
11	Text Unit 4 & Viva Chapter 8
12	Text Unit 4 & Viva Chapter 9
13	Text Unit 5 & Viva Chapter 10
14	Text Unit 5 & Dictation (movies)
15	Text Unit 5 & Dictation (movies)
16	Review text Unit 3 to 5 & Final examination

## 【履修上の注意事項】

提出物は、B5のルーズリーフを使用すること。毎回必ず、英和辞書を持参すること。

## 【評価方法】

中間テスト： 15%

クイズ (Viva! など)： 30%

講義への貢献度： 10%

期末テスト： 15%

課題&amp;提出物： 20%

出席： 10%

## 【テキスト】

地域環境の学生用： Forerunner to Power-Up English 「総合英語パワーアップ」 南雲堂

日本文化の学生用： Tourism English 「観光英語で日本案内」 英宝社

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 一ツヨウソ ターハート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

## 【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

## 【授業の展開計画】

English I will cover the first half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Self-introductions	17	Unit 5
2	Wh-questions	18	Unit 5
3	Unit 1	19	Unit 5
4	Unit 2	20	Unit 6
5	Unit 2	21	Unit 6
6	Describing people	22	Unit 6
7	Describing people	23	Rules
8	Describing people	24	Unit 7
9	Describing people	25	Prefer / like better
10	Unit 3	26	Health and sickness
11	Unit 3	27	Health and sickness
12	Unit 4	28	Interview
13	Unit 4	29	Interview
14	Jobs	30	Final exam
15	Jobs	31	Listening test
16	Unit 5		

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

The final grade will be based on: final exam / listening test / quizzes (50%), interview test (20%), homework (10%), attendance / participation (10%) and presentation (10%).

## 【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

## 【参考文献】

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.

## 英語 I

担当教員 糸数 デビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語 I

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律(水土1)

## 【授業のねらい】

このテキストは、単に英語のダイアログを覚えるのではなく、英語を母語とした人とそうでない人の英語も含めて、日常的に話されている自然な英語をたくさん聞き、英語表現の特徴を掴み、ペアレッスンなどを通してより自然な英語(特にlisteningとspeaking)が学べるよう構成されている。授業では、できるだけ聞き・話すに重点を置いて、相手の英語を理解し、自分の言いたいことを的確に英語で表現できるようにする。

## 【授業の展開計画】

週2回のうち、1回はラボ教室を使用します。  
授業では、聞き・話す为中心になりますので、テキストの単語や練習問題は事前に予習しておくこと。  
以下のスケジュールは、変更する場合があります。  
詳細は最初の授業のとき(Introduction)に説明します。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction Unit 1
2	Unit 1
3	Unit 3
4	Unit 4
5	Unit 5
6	Unit 6
7	Unit 7
8	Unit 8
9	Unit 9
10	Unit 10
11	Unit 11
12	Unit 12
13	Review・Final test
14	Speech (1)
15	Speech (2)
16	Speech (3)

## 【履修上の注意事項】

授業では聞き・話すに重点を置くので、テキストにある単語や練習問題などは事前に必ず予習しておくこと。  
授業に積極的に参加すること。遅刻3回で一回の欠課(欠席扱い)とみなします。欠課が10回になると、単位はありません。

## 【評価方法】

Listening Quiz . . . . . 25%  
Speech . . . . . 35%  
定期試験 . . . . . 40%

## 【テキスト】

Nice Talking with You 1 (CAMBRIDGE)

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）

### 【授業のねらい】

大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高いテキストを用いて、臨場感あふれる、生き生きしたCampus Englishを習得することを目指す。

### 【授業の展開計画】

第 1週：オリエンテーション（教室での活動、ラボ室での活動について）

第 2週：Unit 1

第 3週：Unit 2

第 4週：スピーチ（“The origine of My First Name”）

第 5週：Unit 3

第 6週：Unit 4

第 7週：Unit 5

第 8週：Unit 6

第 9週：Unit 7

第10週：Unit 8

第11週：Unit 9

第13週：Unit 10

第14週：Unit 1～Unit 10のまとめ

第15週：期末試験

第16週：試験の解答およびまとめ

\*以上のプランは活動状況によっては、変更する場合もあるので、欠席した場合は、進み具合を確認すること。

### 【履修上の注意事項】

- ① 3分の1欠席すると、単位は得られない。遅刻3回で、1回の欠席とみなす。各自自分で出欠の管理をしてたえず教師側の記録と照合することができるようにしておく。
- ② 他の学生の学習を妨げるような行為をつつしむ。
- ③ Pair workの活動では、積極的に取り組むよう心がける。
- ④ 辞書を活用する習慣を身につける。

### 【評価方法】

毎週実施するミニ・クイズに加えて、期末試験、ラボ室での活動、教室での活動などを統合して決定する。

### 【テキスト】

Campus English（CENGAGE Learning, 2013年初版、2000円＋税）

### 【参考文献】

適宜紹介する。

**英語 I**

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

**【授業のねらい】**

本講義は、初日の orientation を除き、各種活動(dictation, one-minute speech, definition game, listening comprehension, essay writing 等)を主軸に行います。先ず、1文毎の英文を1度聴取し、聞いた通りの英語を書き取ります。続いて、曜日や週毎に設定された課題を通して、oral skills の向上を目指します。

**【授業の展開計画】****【履修上の注意事項】**

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な事由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題は毎時期限までに完成させます。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

**【評価方法】**

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② dictation/speech/listening comprehension/essay writing
- ③ 英語の理解と使用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢

**【テキスト】**

別途連絡します。

**【参考文献】**

別途連絡します。

## 英語 I

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語 I

担当教員 上原 千登勢

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産業情報（火金2）社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習します。学生一人一人が英語で伝えたいことを常に意識し、自身に必要な英単語や表現を積極的に学ぶことを期待します。また、ペアワークやグループワークを通して共に学び、英語学習が楽しくできる環境作りを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch. 7
2	Unit 1: Hello everybody!	18	Unit 4: Take it easy!
3	Viva! San Francisco Ch. 1	19	Viva! San Francisco Ch. 8
4	Unit 1: Hello everybody!	20	Unit 5: Where do you live?
5	Viva! San Francisco Ch. 2	21	Viva! San Francisco Ch. 9
6	Unit 2: Meeting people	22	Unit 5: Where do you live?
7	Viva! San Francisco Ch. 3	23	Viva! San Francisco Ch. 10
8	Unit 2: Meeting people	24	Unit 6: Can you speak English?
9	Viva! San Francisco Ch. 4	25	Viva! San Francisco 6-10 まとめ
10	Unit 3: The world of work	26	Unit 6: Can you speak English?
11	Viva! San Francisco Ch. 5	27	Viva! San Francisco 1-10 まとめ
12	Unit 3: The world of work	28	Unit 4-6: Can-do check
13	Viva! San Francisco Ch. 1-5まとめ	29	Unit 1-6: Can-do Practice
14	Unit 1-3: Can-do check	30	Unit 1-6: Can-do Final Check
15	Viva! San Francisco Ch. 6	31	期末テスト
16	Unit 4: Take it easy!		

## 【履修上の注意事項】

(1) 期末テストの他に、定期的に行うCan-do checkを重要視します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 課題や宿題が出されるときは、確実に提出して下さい。(4) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②Can-do check、③課題や宿題、④期末テストを総合的に判断して評価します。

## 【テキスト】

1. American Headway 1 (Student Book , Second Edition), Oxford University Press

## 【参考文献】

必要に応じて随時授業で紹介します。

## 英語 I

担当教員 前澤 大樹

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 英米（火金1）

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

この授業では、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせ、高校までの学習事項を確認するとともに、更に踏み込んだ内容を扱うことにより、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養うことを目的とする。CALL教室の回では、自然な状況設定の中で実践的口語表現を学び、反復的な練習機会をできるだけ確保して、感覚的な定着を目指す。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習の機会も多く設ける。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを行って貰い、話して伝える力の更なる向上を図る。

## 【授業の展開計画】

\*進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、導入	17	VSF Chapter 6
2	World Link (WL) Unit 1-A	18	WL Unit 4-A、スピーチ
3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 1	19	VSF Chapter 7
4	WL Unit 1-B、スピーチ	20	WL Unit 4-B、スピーチ
5	VSF Chapter 2	21	VSF Chapter 8
6	WL Unit 2-A、スピーチ	22	WL Unit 5-A、スピーチ
7	VSF Chapter 3	23	VSF Chapter 9
8	WL Unit 2-B、スピーチ	24	WL Unit 5-B、スピーチ
9	VSF Chapter 4	25	VSF Chapter 10
10	WL Unit 3-A、スピーチ	26	WL Unit 6-A、スピーチ
11	VSF Chapter 5	27	VSF 最終まとめと応用
12	WL Unit 3-B、スピーチ	28	WL Unit 6-B、スピーチ
13	VSF 中間まとめと応用	29	リスニング・スピーキング発展練習・問題
14	WL 中間まとめと応用・発展	30	WL 最終まとめと応用・発展
15	VSF 中間確認テスト	31	期末試験
16	WL 中間確認テスト		

## 【履修上の注意事項】

- 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。
- リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いたか・どれだけ話したかということが重要になる。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。
- 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。

## 【評価方法】

- (1) 期末試験：30% (2) 中間確認テスト2回(VSF・WL)：計30% (3) スピーチ及びその他小課題(あれば)：10%  
 (4) 平常点(受講態度、活動姿勢、学習に有益な発言・質問等)：30%  
 の配分で得点を計算し、評価を決定する。  
 但し、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。

## 【テキスト】

- Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要)
- Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 -中根 佳

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、企シ（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語 I

担当教員 長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地域環境（水土2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として、幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

## 【授業の展開計画】

- |                      |          |                      |          |
|----------------------|----------|----------------------|----------|
| 1 クラス概要説明等           |          | 17 DISCOVERING JAPAN | Lesson 7 |
| 2 DISCOVERING JAPAN  | Lesson 1 | 18 副教材（プリント教材 7）     |          |
| 3 副教材（プリント教材 1）      |          | 19 DISCOVERING JAPAN | Lesson 8 |
| 4 DISCOVERING JAPAN  | Lesson 2 | 20 副教材（プリント教材 8）     |          |
| 5 副教材（プリント教材 2）      |          | 21 Quiz IV           |          |
| 6 Quiz I             |          | 22 At the Movies     |          |
| 7 DISCOVERING JAPAN  | Lesson 3 | 23 Field of Dreams   |          |
| 8 副教材（プリント教材 3）      |          | 24 DISCOVERING JAPAN | Lesson 9 |
| 9 DISCOVERING JAPAN  | Lesson 4 | 25 副教材（プリント教材 9）     |          |
| 10 副教材（プリント教材 4）     |          | 26 副教材（プリント教材 10）    |          |
| 11 Quiz II           |          | 27 副教材（プリント教材 11）    |          |
| 12 DISCOVERING JAPAN | Lesson 5 | 28 Quiz V            |          |
| 13 副教材（プリント教材 5）     |          | 29 会話テスト(クラス1/2)     |          |
| 14 DISCOVERING JAPAN | Lesson 6 | 30 会話テスト(クラス1/2)     |          |
| 15 副教材（プリント教材 6）     |          | 31 課題提出・追試等          |          |
| 16 Quiz III          |          |                      |          |

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

## 【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

## 【参考文献】

## 英語 I

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、企シ（火金2）、経済（水土2）

## 【授業のねらい】

スピーキング力とリスニング力の育成を中心に、英語の基礎力アップを目指します。Warm-Up活動等では中学・高校での既習事項を振り返りながら、ペアやグループ学習を取り入れインターアクティブ（双方向）な授業展開をしますので、積極的な発言が望まれます。週1回はCALL教室を使用し、聞き取りを中心に音読や実践的な口語表現を練習し、英会話力アップを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.7他
2	英語の基礎力養成1	18	英語の基礎力養成8
3	Viva! San Francisco Ch.1	19	Viva! San Francisco Ch.8他
4	英語の基礎力養成2	20	スピーチテスト準備
5	Viva! San Francisco Ch.2他	21	Viva! San Francisco Ch.9他
6	英語の基礎力養成3	22	スピーチテスト
7	Viva! San Francisco Ch.3他	23	Viva! San Francisco Ch.10他
8	英語の基礎力養成4	24	英語の基礎力養成9
9	Viva! San Francisco Ch.4他	25	Viva! San Francisco Ch.11他
10	英語の基礎力養成5	26	英語の基礎力養成10
11	Viva! San Francisco Ch.5他	27	インタビューテスト
12	英語の基礎力養成6	28	英語の基礎力養成11
13	Viva! Ch.1～5総まとめ（テスト）	29	Viva! San Franciscoの総まとめ
14	英語の基礎力養成7	30	英語の基礎力養成12
15	Viva! San Francisco Ch.6他	31	英語の基礎力養成8～12（期末点検）
16	英語の基礎力養成1～7（中間点検）		

## 【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテスト・インタビューテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) レポート課題が出される際には、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③インタビューテスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)産情(火金2)

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

英語Ⅰの発展を前提に、大学レベルの英語力の養成と基本的な発信型コミュニケーション力の習得を目指す。週一回のラボ室では、全学教材のViva!SanFranciscoのCh11-20をCALLソフトを用いて学習し、他のメディア教材との併用で、多種多様な英語のインプットをはかる。また普通教室では、英語Ⅰで用いた教材を引き続き用いて基礎英語力を向上させて、それを生かして、英語で自ら表現し伝えて意思疎通の図れる力をみにつける。

## 【授業の展開計画】

(以下Viva!はテキストViva! San Franciscoをさす。週1回はCALL教室での授業となる) 英語基礎力とは、英語Ⅰと同様の大学レベルの英語力(語彙、文法面)の習得とともに、その周辺の力を学習することである。16週目には、スピーキングテストがあることに注意すること。学習内容の定着を目的とした定期的なテストを実施する。(なお、以下の各回の学習内容は進捗度や使用教室により変更およびずれ等があるので注意すること)

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	ラボ室学習Viva!7回目 他
2	英語Ⅰ履修内容の総復習、他	18	英語基礎力養成18 他
3	ラボ室学習Viva!1回目 他	19	ラボ室学習Viva!8回目 他
4	英語基礎力養成12 他	20	英語基礎力養成19 他
5	ラボ室学習Viva!2回目 他	21	ラボ室学習Viva!9回目 他
6	英語基礎力養成13 他	22	英語基礎力養成20 他
7	ラボ室学習Viva!3回目 他	23	ラボ室学習Viva!10回目 他
8	英語基礎力養成14 他	24	英語基礎力養成21 他
9	ラボ室学習Viva!4回目 他	25	Viva!期末点検(テストを含む)
10	英語基礎力養成15 他	26	英語基礎力養成22 他
11	ラボ室学習Viva!5回目 他	27	スピーキングテスト準備
12	英語基礎力養成16 他	28	英語基礎力養成18-22点検(テストを含む)
13	Viva! 中間点検 他	29	スピーキングテスト関連
14	英語基礎力養成17 他	30	スピーキングテスト関連
15	ラボ室学習Viva!6回目 他	31	スピーキングテスト関連
16	英語基礎力養成12-17点検(テストを含む)		

## 【履修上の注意事項】

○英語Ⅱは原則として英語Ⅰと同じクラスに登録することに注意してください。英語Ⅰ(担当大城)の同曜日同時限に登録し

ていなかった学生が英語ⅡでWeb登録を行っても本英語Ⅱクラスでの登録認めません。○受講に際しては、高校レベル以上の英和と英辞典は必携です(電子辞書は可) ○語学は能動的に学習してこそ力がつくものです。よってクラスでも能動のおよび積極的に参加してください。○週2回の授業のうち1回はCALL教室を使用する。

## 【評価方法】

授業への参加、試験、Speech、発表、出席、遅刻、態度などを総合的に評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco大八木廣人他マクランゲンゲージハウス(購入必要なし) 2. 英語Ⅰで用いた教科書 3. 講師作成配布のStudy Guide

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（月木5）

## 【授業のねらい】

英語Ⅰ同様、CALL教室で、コンピュータソフトウェア教材Viva! San Francisco を用いて基本的なリスニングとスピーキング能力の養成を図ると同時に、別途指定された教科書を学習していく中で、リスニング及び基礎的なスピーキングの力をつけていくことを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Viva! San Francisco Chapter 11～15	17	Viva! San Francisco Chapter 16～20
2	Viva! San Francisco Chapter 11～15	18	Viva! San Francisco Chapter 16～20
3	Viva! San Francisco Chapter 11～15	19	Viva! San Francisco Chapter 16～20
4	Viva! San Francisco Chapter 11～15	20	Viva! San Francisco Chapter 16～20
5	Viva! San Francisco Chapter 11～15	21	Viva! San Francisco Chapter 16～20
6	Viva! San Francisco Chapter 11～15	22	Viva! San Francisco Chapter 16～20
7	Viva! San Francisco Chapter 11～15	23	Viva! San Francisco Chapter 16～20
8	Viva! San Francisco Chapter 11～15	24	Viva! San Francisco Chapter 16～20
9	Viva! San Francisco Chapter 11～15	25	Viva! San Francisco Chapter 16～20
10	Viva! San Francisco Chapter 11～15	26	Viva! San Francisco Chapter 16～20
11	Viva! San Francisco Chapter 11～15	27	Viva! San Francisco Chapter 16～20
12	Viva! San Francisco Chapter 11～15	28	Viva! San Francisco Chapter 16～20
13	Viva! San Francisco Chapter 11～15	29	Viva! San Francisco Chapter 16～20
14	Viva! San Francisco Chapter 11～15	30	Viva! San Francisco Chapter 16～20
15	Viva! San Francisco Chapter 11～15	31	期末テスト
16	中間テスト		

## 【履修上の注意事項】

教科書は、必ず購入して、辞書を授業に持ってくる（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

## 【テキスト】

- Viva! San Francisco (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE) ラボ室ソフト教材のため、購入の必要はない。
- FIFTY-FIFTY A speaking and listening course Book One Third Edition (PEARSON Longman)  
受講者全員、必ず購入すること。

## 【参考文献】

特にないが、必要な際には、授業で適宜紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 真喜志 満

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)

## 【授業のねらい】

英語Ⅰに比べて、全体的に文章が少し長くなる。前期同様、普通教室での授業は、「つぶやき英語トレーニング(七田 真監修)」の手法を用いて、基礎的な英語表現を、考えなくても自然に口をついて出てくるようになるまで演習を行い、翌週に小テストで確認を行う。CALL教室での授業は、ITを活用して、既存の教材“Viva! San Francisco”と洋楽を導入、活用して、ヒアリングとスピーキングの技能を高めるよう演習し、さらにITによる小テストで習得の確認を行う。英語が苦手な人でも、「音楽療法」を取り入れることで、少しでも英語を無理なく楽しく学べ、同時に異文化への関心も高めてもらうのがコースの狙いである。学期末には実力テストも行う。

## 【授業の展開計画】

前期同様週1回は、普通教室で「つぶやき英語トレーニング」のテキストを使って、各場面の英語表現を暗記する作業を中心に行う。まず、英語を聞いて、和訳で状況のイメージをつかみ、その後英語表現の理解と習得に努め、音読、ディクテーションなどを行っていき、最終的に暗記できるまで演習を行う。そしてその結果、どれだけ暗記できたかを確認する小テストを翌週に実施する。Scene1, 9, 16, , 23, 24, 26, 29, 32, 37, 43, 44, 47を順に学習していく。

別の日の週1回は、“VIVA SANFRANCISCO”をChapter11から順にCALL教室のシステムを活用して演習していくが、授業では全文の解釈や注釈にとどめ、具体的な練習問題とその解答の確認やその他の練習は、各自宿題として自主学習するものとする。またCALL教室では、専用サーバーに用意した洋楽教材を活用して、詩の解釈や注釈を行い、各アーティストが歌う音楽を鑑賞する。ただその際、音楽を聴いて楽しむだけではなく、詩を暗記する努力や、ヒアリングを向上させる努力、また発音やイントネーションの矯正など必要な学習や演習を忘れてはならない。また、洋楽についても、翌週どこまで習得・記憶できたかを試す小テストをシステムを使って行う。また、歌いやすい洋楽については、一緒に口ずさんで練習し、グループで歌の練習の成果を発表させることもある。

学期末には、実力テストを実施する。これにより入学時にプレテストにより計測した英語力が一年後にどれだけ伸びたかを計測し、一番伸びた学生の改善点を100として各学生の改善点を評価する。間違っても実力の差がマイナスとなつては、大学で英語を1年間学んだ意味がなくなるので、普段から自分なりに英語を習得し、実力を上げていく努力が望まれる。

## 【履修上の注意事項】

公休日や休校、その他特別な事情で、同じ曜日が連続する場合があるので、講義内容や小テストの日程などを間違えないよう準備すること。欠席する学生は、できる限り事前に所定の欠席届を提出すること。急な病欠などは仕方がないので、翌週までに医療機関にかかったことを証明する書面をコピーして欠席届に添付して提出すること。それ以外は、「病欠」とは認められない。「公欠」についても、必ず顧問の教官から出された書面を添付して提出すること。出欠は授業開始と同時に取るので、遅刻をしないよう心がけること。

## 【評価方法】

出席10%、小テスト(つぶやき英語)25%、小テスト(洋楽)35%、宿題(Viva SFの自主学習)20%、実力テスト10%、その他+/-5%。なお、「その他」とは授業態度や授業への貢献度などが総合的に加味される評価である。

## 【テキスト】

プリント教材を毎回配布する。

## 【参考文献】

英和・和英・英英辞典、英文法書、あるいは電子辞書やインターネット上の文献・ホームページなど

## 英語Ⅱ

担当教員 宮平 勝行

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 経済・環境・企シ・産情（月木5）

## 【授業のねらい】

英語のリスニングとスピーキング力の向上を図ることによってコミュニケーション能力を高めるのがこのクラスの教育目標です。大学生にとって馴染みのある日常的な題材からグローバルな科学的トピックまで、様々な話題をもとに英語の会話やナレーションを聴き、自ら批判的に考え、英語で表現する訓練を繰り返します。こうした活動を継続することによって大学生としての教養と英語力を高めます。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義内容説明・オンライン学習について	17	5. Focus on food
2	1. Living for work	18	6. Housing
3	1. Living for work	19	6. Housing
4	1. Living for work	20	6. Housing
5	2. Good times, good feelings	21	7. Exploring space
6	2. Good times, good feelings	22	7. Exploring space
7	2. Good times, good feelings	23	7. Exploring space
8	3. Treasures from the past	24	8. Art and music
9	3. Treasures from the past	25	8. Art and music
10	3. Treasures from the past	26	8. Art and music
11	4. Weather and climate	27	9. Our relationship with nature
12	4. Weather and climate	28	9. Our relationship with nature
13	4. Weather and climate	29	9. Our relationship with nature
14	中間テスト	30	10. How we communicate
15	5. Focus on food	31	期末テスト
16	5. Focus on food		

## 【履修上の注意事項】

- 予習（特にオンライン学習）を欠かさず行い、授業中はクラス・ディスカッションに当てること。
- 事前の申し出がなく、予定された日に試験やクイズを受けられない場合、得点は0点となります。
- 出欠状況は「授業への貢献度」として評価します。正当な理由がなく講義を欠席した場合は、1回ごとに総合点（100点）から2点ずつ減点します。3回の遅刻は1回の欠席とみなしますので注意しましょう。

## 【評価方法】

1. 語彙力とリスニング力養成のためのquizを定期的実施します。（5～7回、20%）
2. 中間テスト（30%）
3. 期末テスト（30%）
4. 受講態度及び授業への貢献度を評価します（20%）

## 【テキスト】

Chase, Becky T. (2013). Pathways 1: Listening, Speaking, and Critical Thinking. Boston, MA: Heinle-Cengage ELT.

## 【参考文献】

教員が用意するハンドアウト教材。英和辞書、和英辞書、英英辞書（電子辞書を含む）。

## 英語Ⅱ

担当教員 -奥間 隆伸

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、英語のspeaking, listening, reading, writing に関する基礎的な運用能力の養成及び向上を目指す。そのため週2回の授業の中、1回はCALL教室において英語Ⅰ・Ⅱ指定教科書：Viva! San Franciscoを使い日常の英会話習得とアメリカ文化に対する理解を深める。あとの1回は普通教室において別の教科書(English Sound Box)やプリントを使って、基礎的なリスニング・スピーキング力の向上を目指します。授業では個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていく。

### 【授業の展開計画】

CALL教室においては、コンピューター化された教材：Viva! San Francisco を使用し英語の基礎的な4技能（リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング）の習得と向上を目指す。テキストはPart2の部分：Chapter11-20を学習していく。その際、個人、ペアワーク、クラス全体での活動を行ないます。通常教室においては、教科書（英語Ⅰで使用したEnglish Sound Box）やプリントを使って基礎的なリスニング・スピーキング力の向上に努める。そのため、受講者は積極的に授業に参加することが求められます。レッスン毎に単語や重要表現に関するテストをおこなう。

第1週： 講義の概要説明介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

### 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。特にCALL教室では、自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、居眠り、私語、携帯電話の使用などは授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

### 【評価方法】

出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。  
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

### 【テキスト】

- ① Viva! San Francisco Hiroto Ohyagi & Timothy Kiggell MACMILLAN LANGUAGEHOUSE 2000円(税別)
- ② English Sound Box 大塚朝美、上田洋子、Kathy Maruyama, 今井由美子 (金星堂) 1950円(税別)

### 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語Ⅱ

担当教員 一長嶺 博

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地域環境（水土2）、日文（水4土3）

## 【授業のねらい】

このクラスではリスニングとスピーキングに重点が置かれる。特にリスニングに関し、副教材（プリント教材）の使用では、英語独特の音のつながりに伴うその変化を学習し、ロールプレイ等でその発音練習等を行う。テキスト DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH の使用では、リスニングによる教材の内容理解確認、単語力向上を図る内容や英作文等が加わる。小テスト（クイズ）を5回と、期末試験として幅教材の会話部分を基にした会話テストを行う予定。尚、週一回は CALL 教室を使用する。

## 【授業の展開計画】

1 クラス概要説明等	17 DISCOVERING JAPAN	Lesson 16
2 DISCOVERING JAPAN Lesson 10	18 副教材（プリント教材 18）	
3 副教材（プリント教材 12）	19 DISCOVERING JAPAN	Lesson 17
4 DISCOVERING JAPAN Lesson 11	20 副教材（プリント教材 19）	
5 副教材（プリント教材 13）	21 Quiz IV	
6 Quiz I	22 ABCDJ	
7 DISCOVERING JAPAN Lesson 12	23 Stand By Me	
8 副教材（プリント教材 14）	24 DISCOVERING JAPAN	Lesson 18
9 DISCOVERING JAPAN Lesson 13	25 副教材（プリント教材 20）	
10 副教材（プリント教材 15）	26 副教材（プリント教材 21）	
11 Quiz II	27 副教材（プリント教材 22）	
12 DISCOVERING JAPAN Lesson 14	28 Quiz V	
13 副教材（プリント教材 16）	29 会話テスト(クラス1/2)	
14 DISCOVERING JAPAN Lesson 15	30 会話テスト(クラス1/2)	
15 副教材（プリント教材 17）	31 課題提出・追試等	
16 Quiz III		

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

成績は小テスト（クイズ）及び会話テスト等の試験と出席状況、及びクラス活動の参加度等を基に総合的に評価する。

## 【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」（英宝社）

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 上原 千登勢

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産業情報（火金2）社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

前期と同様、テキストに登場する様々なトピックを通して英語の4つのスキル(Listening, Reading, Writing, Speaking)、語彙力、そして文法をバランスよく学習します。クラスメートと楽しく学ぶ環境の中、より英語学習に積極的に取り組み、英語力の向上を実感することを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション英語I 復習	17	Viva! San Francisco Ch. 17
2	Unit 7: Then and now	18	Unit 10: Looking good!
3	Viva! San Francisco Ch. 11	19	Viva! San Francisco Ch. 18
4	Unit 7: Then and now	20	Unit 11: Life's an adventure!
5	Viva! San Francisco Ch. 12	21	Viva! San Francisco Ch. 19
6	Unit 8: A date to remember	22	Unit 11: Life's an adventure!
7	Viva! San Francisco Ch. 13	23	Viva! San Francisco Ch. 20
8	Unit 8: A date to remember	24	Unit 12: Have you ever?
9	Viva! San Francisco Ch. 14	25	Viva! San Francisco 16-20 まとめ
10	Unit 9: Food you like!	26	Unit 12: Have you ever?
11	Viva! San Francisco Ch. 15	27	Viva! San Francisco 11-20 まとめ
12	Unit 9: Food you like!	28	Unit 10-12: Can-do check
13	Viva! San Francisco Ch. 11-15まとめ	29	Unit 7-12: Can-do Practice
14	Unit 7-9: Can-do check	30	Unit 7-12: Can-do Final Check
15	Viva! San Francisco Ch. 16	31	期末テスト
16	Unit 10: Looking good!		

## 【履修上の注意事項】

(1) 期末テストの他に、定期的に行うCan-do check、を重要視します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 課題や宿題が出されるときは、確実に提出して下さい。(4) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②Can-do check、③課題や宿題、④期末テストを総合的に判断して評価します。

## 【テキスト】

1. American Headway 1 (Student Book , Second Edition), Oxford University Press

## 【参考文献】

必要に応じて随時授業で紹介します。

## 英語Ⅱ

担当教員 前澤 大樹

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 1年次対象 英米（火金1）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

## 【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、特にリスニングとスピーキングに焦点を合わせた活動を行い、大学での英語学習の基礎となる口頭運用能力を養うことを目的とする。CALL教室の回では、自然な状況設定の中で実践的口語表現を学び、反復的な練習機会をできるだけ確保して、感覚的な定着を目指す。普通教室では聴き取りに加え、より能動的な会話練習の機会も多く設ける。また、全員に授業期間のどこかで1分程度のショートスピーチを行って貰い、話して伝える力の更なる向上を図る。

## 【授業の展開計画】

\*進行日程はあくまで目安であり、受講者の活動実施や理解の状況により、実施内容を含め予定を変更する場合があります。基本的には進めるために無理に急ぐよりも、学習内容の十分な定着を優先する。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	授業概要と学習の進め方、英語Ⅰの復習	17	VSF Chapter 16
2	World Link (WL) Unit 7-A	18	WL Unit 10-A、発表
3	Viva! San Francisco (VSF) Chapter 11	19	VSF Chapter 17
4	WL Unit 7-B、発表	20	WL Unit 10-B、発表
5	VSF Chapter 12	21	VSF Chapter 18
6	WL Unit 8-A、発表	22	WL Unit 11-A、発表
7	VSF Chapter 13	23	VSF Chapter 19
8	WL Unit 8-B、発表	24	WL Unit 11-B、発表
9	VSF Chapter 14	25	VSF Chapter 20
10	WL Unit 9-A、発表	26	WL Unit 12-A、発表
11	VSF Chapter 15	27	VSF 最終まとめと応用
12	WL Unit 9-B、発表	28	WL Unit 12-B、発表
13	VSF 中間まとめと応用	29	リスニング・スピーキング発展練習・問題
14	WL 中間まとめと応用・発展	30	WL 最終まとめと応用・発展
15	VSF 中間確認テスト	31	期末試験
16	WL 中間確認テスト		

## 【履修上の注意事項】

- 辞書は毎回必ず持参すること。語彙力は、聴く・話す技能の向上にも不可欠である。
- リスニング・スピーキング力の向上には多分に身体的・感覚的な慣れが必要であり、どれだけ聴いたか・どれだけ話したかということが重要になる。従って、できるだけ欠席しないだけでなく、授業での諸活動に努めて積極的・能動的に取り組むよう求めたい。
- 参加姿勢に甚だしく問題がある場合は、欠席と見なしたり、退室を求めることもあり得る。

## 【評価方法】

- (1) 期末試験：30% (2) 中間確認テスト2回(VSF・WL)：計30% (3) スピーチ及びその他小課題(あれば)：10%  
 (4) 平常点(受講態度、活動姿勢、学習に有益な発言・質問等)：30%  
 の配分で得点を計算し、評価を決定する。  
 但し、出席回数が全体の2/3 (20回)に満たない場合は、その時点で不可とする。この際、遅刻・早退は1/3欠席として扱う(何れも30分以内。それ以上の遅刻・早退は欠席)。

## 【テキスト】

- Ohyagi, Hiroto and Timothy Kiggell (1998) Viva! San Francisco, MacMillan. (購入不要)
- Stempleski, Susan et al. (2011) World Link 1: Developing English Fluency, 2nd Edition, Cengage Learning.

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 中根 佳

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）、企シ（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

## 【授業のねらい】

総合的な英語力（読む・聴く・書く・話す）のスキルのうち、特にリスニング力とスピーキング力とを伸ばす訓練を行います。聞き取った言葉を瞬時に理解しすぐに反応する練習をペアやグループで行い英語での円滑なコミュニケーションを目指します。又、簡単な読み物の音読、多様なリスニング教材のシャドーイング練習（聞き取った音声をすぐに声にだす）を通し聞き取り易い標準的な英語の発音やイントネーションを意識すると共に、異なる英語のアクセントにも慣れる事を目標とします。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション	17	L&SP
2	Viva! San Francisco (VSF)	18	VFS
3	Listening & Speaking practice (L&SP)	19	L&SP
4	VFS	20	VFS
5	L&SP	21	L&SP
6	L&SP	22	VFS
7	L&SP	23	VFS
8	VFS	24	L&SP
9	L&SP	25	VFS
10	VFS	26	L&SP
11	L&SP	27	VFS
12	VFS	28	L&SP期末まとめ
13	L&SP	29	VFS
14	L&SP	30	期末テスト
15	L&SP	31	テスト結果及び評価発表
16	VFS		

## 【履修上の注意事項】

1. 英検準二級程度の学生を基準に授業を進める予定。
2. 火曜日クラス（L&SP）は合計3回～4回のテストを予定しています（テストは全て必ず受ける事）
3. 金曜日クラス（VFS）は、チャプター11-20の対話を暗記して発表及びディクテーションテストをクリアすると合格となります。

## 【評価方法】

1. 火曜クラスのテスト結果や授業参加の状況
2. 金曜クラスの発表、ディクテーションテスト結果
3. 出席率や授業態度

## 【テキスト】

Interchange Level 1 Student's Book with Self-study DVD-ROM Jack C. Richards with Jonathan Hull and Susan Proctor (2945円)

## 【参考文献】

授業で紹介予定

## 英語Ⅱ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（月木5）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 長嶺 広美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地行(水土1)、経済(水土2)

## 【授業のねらい】

英語Ⅰに引き続き、ListeningとSpeakingを中心に総合的な英語学習を通じて、英語によるコミュニケーション能力を高めることを目標とする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Class Orientation	17	Good Morning World Unit 10
2	Good Morning World Unit 7	18	Viva! San Francisco Chap 16
3	Viva! San Francisco Chap 11	19	Good Morning World Unit 10
4	Good Morning World Unit 7	20	Viva! San Francisco Chap 17
5	Viva! San Francisco Chap 12	21	Good Morning World Unit 11
6	Good Morning World Unit 8	22	Viva! San Francisco Chap 18
7	Viva! San Francisco Chap 13	23	Good Morning World Unit 11
8	Good Morning World Unit 8	24	Viva! San Francisco Chap 19
9	Viva! San Francisco Chap 14	25	Good Morning World Unit 12
10	Good Morning World Unit 9	26	Viva! San Francisco Chap 20
11	Viva! San Francisco Chap 15	27	Good Morning World Unit 12
12	Good Morning World Unit 9	28	Oral Quiz 2
13	Oral Quiz 1	29	Review
14	Review	30	Final Exam
15	Midterm Exam	31	Class Review
16	Exam Review		

## 【履修上の注意事項】

プレゼンテーション等学生主体のクラスとしていくので、積極的なクラス参加を望む。3分の1以上の欠席者は単位を認めない。また、遅刻3回で1回の欠席とみなす。

## 【評価方法】

授業貢献度 10% クイズ 20%  
Oral Quiz 20% 中間・期末試験 50%

## 【テキスト】

Good Morning World 2 (CENGAGE Learning)  
It's Time to Read! (NAN' UN-DO)  
Viva! San Francisco (購入の必要はありません)

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 -富里 明美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 地環（水土2）日文（水4土3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 ショーン ターバート

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 英米 (火金1)

## 【授業のねらい】

This class is designed to help students improve the four skills of reading, writing, listening and speaking, with a focus on listening and speaking. The class will include a variety of pair and group activities to develop conversational skills.

## 【授業の展開計画】

English II will cover the second half of the text, Marathon Mouth. In addition, other materials will be used to expand on and reinforce what is covered in the text.

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Summer vacation activity	17	Unit 13
2	Unit 8	18	Unit 13
3	Unit 8	19	Unit 13
4	Correct the mistakes	20	Unit 14
5	Unit 9	21	Unit 14
6	Unit 9	22	Unit 14
7	Unit 10	23	Future
8	Unit 10	24	Winter vacation activity
9	Numbers	25	Pair interview for speech
10	Unit 10	26	Review
11	Unit 11	27	Speech
12	Unit 11	28	Speech
13	Unit 11	29	Interview
14	Unit 12	30	Final exam
15	How often	31	Listening test
16	Wh-questions		

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

The final grade will be based on: final exam / listening test / quizzes (50%), interview test (20%), homework (10%), attendance / participation (10%) and presentation (10%).

## 【テキスト】

Marathon Mouth (Intercom Press) will be used, as well as supplementary materials that will be provided by the instructor.

## 【参考文献】

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to class. Cell phone dictionaries cannot be used in class.

## 英語Ⅱ

担当教員 新城 知子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、地環（水土2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 糸数 ジュニョール テビット

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）

## 【授業のねらい】

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

## 【テキスト】

## 【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 日文(水4土3)

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能を全てバランス良く伸ばすことを目指す。観光ガイドに必要な日本文化や風物に関する英会話を聴いて練習して、各グループで独自の英会話文を作って発表し英語での質疑応答ができるようにする。テキストの語彙、和文英作、観光に関する練習問題などもこなして技能の向上をはかる。CALL教室ではテキストのリスニングやE-Learning, DVDや英語の歌等の多様な教材を使って、楽しみながら英語が聴き取れるようになることを目指す。

## 【授業の展開計画】

\*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、ユニットも前後する場合もある。

\*\*テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	テキストUnit 1
3	テキストUnit 1
4	テキストUnit 2-3
5	テキストUnit 4-5
6	テキストUnit 6
7	テキストUnit 7
8	中間試験
9	テキストLesson 8
10	テキストLesson 9-10
11	テキストLesson 11-12
12	テキストLesson 13
13	テキストLesson 14
14	テキストLesson 15
15	英会話テスト(ディベート/ディスカッション)
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)

## 【評価方法】

中間・期末試験 : 70%  
 英会話テスト : 20%  
 授業への参加度 : 10%

## 【テキスト】

DISCOVERING JAPAN through TOURISM ENGLISH 「観光英語で日本発見！」(英宝社、2010)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 芦峰 隆章

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 経済(水土2)

## 【授業のねらい】

この授業では、「読む」、「書く」、「聴く」、「話す」、の英語の四技能のうち「聴く」、「はなす」を重点的に学習していく。到達目標は以下の4点である。

- (1) 平易な英文を読み、その内容を的確に理解できる。
- (2) 英文読解の質問に英語で答えることができ、会話文を英語で書くことができる。
- (3) 様々な状況で取り交わされる英語の内容を聞き取ることができる。
- (4) 英語で日常会話ができ、自分の考えや意見を英語で伝達することができる。

## 【授業の展開計画】

\*学生の理解度を深めるためにテキストの各ユニットが必ずしもページの若い順に進まないことがあるし、前後したり、削除されるユニットがあるかもしれない。

\*\*テストの期日が予定とは若干ずれる可能性もある。

週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション
2	Unit 10 (1) : Vacation
3	Unit 10 (2) : Vacation
4	Unit 11 (1) : Life stories
5	Unit 11 (2) : Life stories
6	Unit 8 (1) : People
7	Unit 8 (2) : People
8	中間試験
9	(from Breakthrough 2) Unit 11 (1)
10	(from Breakthrough 2) Unit 11 (2)
11	Unit 9 (1) : Having fun
12	Unit 9 (2) : Having fun
13	Unit 12 (1) : Hopes and intentions
14	Unit 12 (2) : Hopes and intentions
15	英会話テスト(ディベート/ディスカッション)
16	期末試験

## 【履修上の注意事項】

- (1) 毎回辞書を持参すること。(電子辞書でもよい)
- (2) 予習・復習をすること。
- (3) グループ学習の際には、互いに協力しあって、積極的に取り組むこと。

## 【評価方法】

中間・期末試験 : 70% (到達目標 1, 2, 3)  
 英会話テスト : 20% (到達目標 2, 4)  
 授業への参加度 : 10% (到達目標 1, 2, 3, 4)

## 【テキスト】

Breakthrough PULS 1  
 (MACMILLAN LANGUAGEHOUSE, 2013年)

## 【参考文献】

特にないが必要時には紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 野口 正樹

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次 対象 英米 (火金1)

## 【授業のねらい】

本講義は、warm-up 終了後、課題である暗唱例文の practice を pair で行います。続いて、quick response に移ります。それから、語法・文法に関する質疑応答を英語または日本語で実践します。後半は、group に分かれ、暗唱英文に基づいた skit 作成に取り組みます。homework assignment の活用を奨励します。その後 group 毎に英語による acting out を行います。

## 【授業の展開計画】

## 【履修上の注意事項】

- ① 受講予定者は、講義初日の orientation に必ず参加し、内容・方法を理解することが履修の前提です。
- ② 無断遅刻・欠席・退出は一切認められません。正当な理由がある場合は、事前に必ず mail 連絡下さい。
- ③ 課題 skit は、事前に提出します。
- ④ 携帯電話の電源は切っておきましょう。また、textbook 及び辞書、筆記用具は必須です。
- ⑤ 講義内での私語及び居眠り・他者への迷惑行為等は問題外になります。

## 【評価方法】

- ① 授業出席度 (原則皆勤)
- ② quick response / debate
- ③ 英語の理解と運用
- ④ 質疑応答
- ⑤ 課題テストおよび中間・期末試験
- ⑥ 受講姿勢

## 【テキスト】

別途連絡します。

## 【参考文献】

別途連絡します。

## 英語Ⅱ

担当教員 新垣 實

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 社文・人福（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅱ

担当教員 松田 順子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 産情（火金2）

## 【授業のねらい】

前期に引き続き、大学生にとっての日常生活における身近な場面に焦点をあて、英語の4技能をバランスよく学習する。実用性の高いテキストを用いて、臨場感あふれる、生き生きしたCampus Englishを習得することを目指す。

## 【授業の展開計画】

授業の展開計画

第 1週：オリエンテーション（後期の目標の確認 / 作文：“What I Did During the Summer Vacation”）

第 3週：Unit 12 &amp; 13

第 4週：Unit 14

第 5週：Unit 15

第 6週：Unit 16 &amp; 17

第 7週：Unit 18

第 8週：Unit 19

第 9週：Unit 20 &amp; 21

第10週：Unit 22

第11週：Unit 23

第13週：Unit 24

第14週：Unit 11～Unit 24のまとめ

第15週：期末試験

第16週：試験の解答およびまとめ

\*以上のプランは活動状況によっては、変更する場合もあるので、欠席した場合は、進み具合を確認すること。

## 【履修上の注意事項】

- ① 3分の1欠席すると、単位は得られない。遅刻3回で、1回の欠席とみなす。各自自分で出欠の管理をしてたえず教師側の記録と照合することができるようにしておく。
- ② 他の学生の学習を妨げるような行為をつつしむ。
- ③ Pair workの活動では、積極的に取り組むよう心がける。
- ④ 辞書を活用する習慣を身につける

## 【評価方法】

毎週実施するミニ・クイズに加えて、期末試験、ラボ室での活動、教室での活動などを統合して決定する。

## 【テキスト】

Campus English ( CENGAGE Learning, 2013年初版、2000円＋税 )

## 【参考文献】

適宜紹介する。

## 英語Ⅱ

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1年次対象 法律（水土1）、企シ（火金2）、経済（水土2）

## 【授業のねらい】

英語Ⅰの発展として、さらにスピーキング力とリスニング力の育成を中心に、総合的な英語力のレベルアップを図り、英語による自己表現活動の育成に力を入れます。週1回のCALL教室では、英語Ⅰに引き続き全学教材のViva! San FranciscoのCh. 11～20を学習し、英会話力アップを目指します。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	英語Ⅱオリエンテーション	17	Viva! San Francisco Ch.17他
2	英語Ⅰの総復習	18	英語の基礎力養成20
3	Viva! San Francisco Ch. 11	19	Viva! San Francisco Ch. 18他
4	英語の基礎力養成14	20	スピーチテスト準備
5	Viva! San Francisco Ch. 12他	21	Viva! San Francisco Ch. 19他
6	英語の基礎力養成15	22	スピーチテスト
7	Viva! San Francisco Ch. 13他	23	Viva! San Francisco Ch. 20他
8	英語の基礎力養成16	24	英語の基礎力養成21
9	Viva! San Francisco Ch. 14他	25	Viva! Ch. 16～20総まとめ
10	英語の基礎力養成17	26	英語の基礎力養成22
11	Viva! San Francisco Ch. 15他	27	インタビューテスト準備
12	英語の基礎力養成18	28	英語の基礎力養成23
13	Viva! Ch. 11～15総まとめ	29	インタビューテスト
14	英語の基礎力養成19	30	英語の基礎20～23総復習
15	Viva! San Francisco Ch. 16他	31	英語の基礎力養成20～25（期末点検）
16	英語の基礎力養成14～19（中間点検）		

## 【履修上の注意事項】

(1) 中間・期末テストの他に、スピーチテスト・インタビューテストを実施します。(2) 遅刻・早退は2回につき1回の欠席とみなします。また、総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価が「不可」となります。(3) 毎回、英和辞典を授業に持参することが望ましいです。(4) 課題が出されるときには、確実に提出して下さい。(5) 大学指定のクラスへの登録となりますので注意してください。本クラスに指定されていない学生はWeb登録しても、実際の登録は認められません。

## 【評価方法】

①出席状況や授業態度、②スピーチテスト、③インタビューテスト、④中間・期末テスト、⑤提出課題、の結果を総合的に判断して評価する。

## 【テキスト】

1. Viva! San Francisco（ラボ室ソフト教材のため購入の必要なし）
2. 講師指定の教科書（オリエンテーション時に連絡する。）

## 【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

このテキストは、米国で1993年に実際に起きた公害訴訟事件を基に作られた映画“Erin Brockovich”を題材にしており、映像を見ながら、使われている英語の語彙や表現、文法を学び、また内容に沿ったReadingやListening活動、音読活動等を通して、総合的な英語力を育成することを目的としている。この映画を通して語学だけでなく、米国の文化や社会についても広く学んでほしいと思う。

## 【授業の展開計画】

教科書では、映画全体を6つのストーリーに分け、それぞれのストーリーをReadingのユニットと、視聴覚学習のユニットで学んでいくという構成になっている。つまり、1週目の授業で読んで理解した内容を、翌週の授業では映像と音声で確認しながら、英語の理解能力と運用能力の両面を高めていくという構成である。学習者の理解度を図るため、中間と期末テストを行う。最後にこのストーリーの感想を英語で書いて提出。

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Unit 2 Reading, Story 1
3	Unit 3 Audio-Visual Learning, Story 1
4	Unit 4 Reading, Story 2
5	Unit 5 Audio-Visual Learning, Story 2
6	Unit 6 Reading, Story 3
7	Unit 7 Audio-Visual Learning, Story 3
8	Midterm Examination
9	Unit 8 Reading, Story 4
10	Unit 9 Audio-Visual Learning, Story 4
11	Unit 10 Reading, Story 5
12	Unit 11 Audio-Visual Learning, Story 5
13	Unit 12 Reading, Story 6
14	Unit 13 Audio-Visual Learning, Story 6
15	Unit 14 Extra Reading
16	Final Examination. Writing assignment

## 【履修上の注意事項】

★ 映画という題材のため、英語の語彙レベルが高い（法律・医学専門用語もあり）ので、テキストのReadingの内容や語彙の練習問題等は、事前に予習してくる。限られた授業時間の中では、全訳や語句を調べたりする時間はありません。しっかり予習をしないと授業についてこれないと思います。

★ 欠席10回になると単位はありません。遅刻3回で一回の欠課（欠席扱い）とみなします。

## 【評価方法】

Midterm Examination ..... 40%  
 Final Examination ..... 40%  
 Writing Assignment ..... 10%  
 Participation & Attendance ... 10%

## 【テキスト】

English on Screen (2015, 金星堂)

## 【参考文献】

新学期が始まる前に映画「エリン・ブロコビッチ」を観ることを勧めます。

## 英語Ⅲ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

基礎的な英文読解力を総合的に伸ばすことを目指します。そのために英語の文章構成（語句、文など）、や展開法（アイデアの配列）を学びます。その上で必要なreading skills（skimming等）の習得を目指し実生活や専門科目で応用できることを目標としたい。授業では、個人、ペアワーク、グループワークを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

## 【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行い（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明、英語による自己紹介

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

## 【評価方法】

出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。  
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

Supreme Reading Level 2 成美堂 宋戸真、Steve Taylore-Knowles, Malcolm Mann 1900円（税別）

## 【参考文献】

必要に応じて授業で配布します。

## 英語Ⅲ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水土2）

## 【授業のねらい】

英語学習における4技能のバランスのとれた伸長を最終目標に据えながらも、本講座では基礎的な「読み」そして「書き」の演習活動に焦点をあて学習を展開していく。(1)まとまりのある英文を効率的かつ正確に読めるようになるための有効なReading Skillsを身につける。(2)読んだ内容について読後感を短文の英文でつづり、それをクラスで共有する。(3)Vocab-Notebook(単語ノート)を作成し講座期間中、継続的に語彙力増強に努める。

## 【授業の展開計画】

受講生は、指示された箇所をしっかりと予習して講義にのぞむこと。テキストに登場する語彙の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。※受講生の学習状況、学習内容の理解度などを考慮に入れ、下記計画を変更することがある。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Course Orientation/Measuring V-Size(1)	17	Unit12 Predicting 1
2	Reading Skill Exercise 1	18	Unit13 The Order of Events 2
3	Unit01 Scanning 1	19	Unit14 Scanning 3
4	Unit02 Understanding Main Ideas 1	20	Review the Units (3)
5	Unit03 Recognizing Purposes	21	Unit15 Cause & Effect
6	Unit04 Skimming 1	22	Unit16 Understanding Main Ideas 2
7	Review the Units (1)	23	Unit17 Locating Main Ideas
8	Unit05 Reading for Details 1	24	Unit18 Reading for Details 2
9	Unit06 Making Inferences 1	25	Review the Units (4)
10	Unit07 The Order of Events 1	26	Unit19 Predicting 2
11	Unit08 Scanning 2	27	Unit20 Skimming 3
12	Unit09 Comparing & Constrasting	28	Review the Units (5)
13	Unit10 Making Inferences 2	29	Reading Skill Exercise 2
14	Review the Units (2)	30	Reading Skill Ex. 3/Measuring V-Size(2)
15	Midterm Examination	31	Final Examination
16	Unit11 Skimming 2		

## 【履修上の注意事項】

1. 「単語ノート」専用に学習ノートを1冊準備してください。
2. 毎回辞書を持参すること。電子辞書でもよいが、辞書機能付き携帯電話等の講義中の使用は認めない。
3. 時数3分の1を超える欠席は、学則により不可。授業進行の妨害になるので以下厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、理由不明の離席、携帯電話等の使用など。なお、遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講日オリエンテーションには大切なお知らせが含まれるので、受講生は正当な理由なしに欠席しないこと。

## 【評価方法】

- 40%: Examinations  
 30%: Review Quizzes  
 20%: Vocab-Notebook  
 10%: In-class Contributions

## 【テキスト】

Elementary Skills for Reading(リーディングスキルの入門演習), Anderson & Kawamata, 2011, Seibido (成美堂)。朝野書房にて販売しています。全受講生必携。

## 【参考文献】

講義内で適時紹介

## 英語Ⅲ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

この講義では英文の全体の構造を意識しながら英文の大意をつかむ練習をします。特に英文を左から右へと読んでいく練習を重ねる事により、英文を速く読む訓練をします。同時に毎週各ユニットのモデル英文を暗誦する事により基礎的ライティング能力を養成します。教科書を中心にその他、時事英語や英検問題を随時取り入れる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Introduction
2	Chapter 2 ガラパゴス化する日本
3	Chapter 3 サービスのマニュアル化
4	Chapter 4 日本の大学の現状
5	Chapter 5 国際語としての英語
6	Chapter 6 卓抜な助け合い精神
7	Chapter 7 移民受け入れの必要性
8	Chapter 8 ユニークな日本の漫画
9	Chapter 10 求む、若き企業家
10	Chapter 11 独自性が際立つ関西
11	Chapter 12 減少する外国留学生
12	Chapter 13 ブームに飛びつく国民性
13	Chapter 16 モンスターペアレンツの出現
14	Chapter 18 不屈の日本再生へ向けて
15	まとめ
16	期末テスト

## 【履修上の注意事項】

- ①ユニット毎のモデル文の小テストをする。
- ②30分以上の遅刻2回で1回の欠席とみなす。
- ③10回以上の欠席は単位を与えない。
- ④予習を必ずして、辞書を授業に持ってくる事。

## 【評価方法】

各ユニットの小テストおよび期末テスト(ユニットの小テストより出題)、出席率、貢献度をもとに総合的に判断する

## 【テキスト】

Good-bye、 Galapagos センゲージラーニング

## 【参考文献】

講義において随時紹介する

## 英語Ⅲ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

## 【授業のねらい】

受講生の基礎的な英語購読のレベル（英検2級以上）まで読解力の向上を目標とする。同時に基礎的な英文法を習得し、語彙力のアップを目指す。使用教材は英字新聞、英語の歌詞、英字評論（エッセイ）、英語の小説（The Outsiders）など

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	クラスオリエンテーション	17	英語の評論 2
2	英文法 1	18	英文法 9
3	英字新聞 1	19	中間試験
4	英文法 2	20	小説 The Outsiders 1
5	英字新聞 2	21	小説 The Outsiders 2 & 3
6	英文法 3	22	小説 The Outsiders 4
7	英字新聞 3	23	小説 The Outsiders 5
8	英文法 4	24	小説 The Outsiders 6
9	英字新聞 4	25	小説 The Outsiders 7
10	英文法 5	26	小説 The Outsiders 8
11	英語の歌詞 1	27	小説 The Outsiders 9
12	英文法 6	28	小説 The Outsiders 10
13	英語の歌詞 2	29	小説 The Outsiders 11 & 12
14	英文法 7	30	映画 The Outsiders
15	英語の評論 1	31	期末試験
16	英文法 8		

## 【履修上の注意事項】

(1) 英語 I & II の単位を取得していること。(2) 大学英語のレベルに相応しい英語辞書を授業に持参してこること。(3) 週一のペースでクイズを行います。(4) 授業中の居眠り、私語、スマートフォンなどの使用は厳禁です。(5) 文科省の規定により、授業回数の1/3以上欠席の学生には単位を与えられない。(6) 提出物は期限を厳守すること。遅れて提出する場合には減点対象になります。

## 【評価方法】

クイズ 20% 英文エッセイ 20% 中間試験 30% 期末試験 30%

## 【テキスト】

授業毎に配布します。

## 【参考文献】

参考文献がある場合にはクラスで配布します。

## 英語Ⅲ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 一仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

この授業では、アメリカの学生、及びアメリカにいる非英語話者の学生に向けてCNNが企画したニュース番組 CNN Student News の内容を教材にしたテキストを用いる。英語圏に限らず、世界を取り巻く様々な興味深い問題を英語で読んでいく中で、前期は、主に読解力の養成に重点を置きつつ、精読した内容のニュースを視聴することで、英語Ⅰ・Ⅱで培った聴解力を更に高めることも目標とする。

## 【授業の展開計画】

注：授業の流れによっては、下記スケジュール変更の可能性あり。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	講義概要説明	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 2	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 4	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 5	26	Unit 12
11	Unit 5	27	Unit 13
12	Unit 6	28	Unit 13
13	Unit 6	29	Unit 14
14	Unit 7	30	Unit 14
15	Unit 7	31	期末テスト
16	中間テスト		

## 【履修上の注意事項】

必ず辞書を、授業に持ってくること（電子辞書可）。

30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。

10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストの結果に、授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決定する。

## 【テキスト】

CNN Student News (1) (朝日出版社)

## 【参考文献】

授業で適宜紹介する。

## 英語Ⅲ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅲ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次 全学科（火金2）

## 【授業のねらい】

英文の読解力や英語での表現力を養成する事を主目的とする。クラスで扱うエッセイや物語を購読後、発表、英作する中で、文章の基本構造、テーマ等を意識しつつ、内容を論理的に把握し分析する力を身に着ける。又、英作やプレゼンテーションを通して文章をより深く理解し表現する力を強化する。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	オリエンテーション & スキルチェック	17	TLP 1 0
2	英文購読演習	18	TLP 1 1
3	The Little Prince (TLP)	19	TLP 1 2
4	TLP 1	20	まとめ
5	TLP 2	21	定期テスト 3
6	TLP 3	22	TLP 1 3
7	TLP 4	23	TLP 1 4
8	まとめ	24	TLP 1 5
9	定期テスト 1	25	TLP 1 6
10	TLP 5	26	まとめ
11	TLP 6	27	定期テスト 4
12	TLP 7	28	プレゼンテーション準備
13	TLP 8	29	最終プレゼンテーション
14	まとめ	30	最終プレゼンテーション
15	定期テスト 2	31	最終評価発表
16	TLP 9		

## 【履修上の注意事項】

- 1 英語のプレゼンテーションや英作を頻繁に行うので積極的に参加する事（評価のウェイトが大きい部分）
- 2 欠席はやむを得ない場合を除き必ず事前に連絡する事（出席率も評価の対象となりますので注意）
- 3 期末試験以外に、定期試験を4回程予定（認められた理由以外の欠席者は再試験受験不可）
- 4 研究ノート仕上げ毎回提出する
- 5 頻繁な遅刻や、授業態度（私語やいねむり）の悪い生徒は退室をお願いする場合がありますので注意

## 【評価方法】

1. 定期テストの成績
2. 毎回の授業後提出する研究ノートの評価
3. 出席率、授業への積極的参加
4. 最終プレゼンテーション
5. 授業態度

## 【テキスト】

初回の授業で発表（星の王子様購読予定）  
3回目の授業までに必ず全員購入する事

## 【参考文献】

適切なものをハンドアウトの形で配布することがある。

## 英語Ⅳ

担当教員 奥間 隆伸

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

英語Ⅲを基礎に、読み、書く能力の一層の強化を図る。その中で特に速読を実践する。速読における第一目標として70～80%の理解度で、130～150wpm (words per minute)の読解速度を目指し、最終的には200 wpm 程度の読解速度の達成に努めたい。そしてこの授業で学習したことを実生活や専門科目で応用できることを目標とした。授業では、個人、ペアワーク、グループワークなどを通じて積極的に英語に触れ、使っていきたい。

## 【授業の展開計画】

教科書を使って幅広い話題に関連してリーディングを行ない（時には音読やリスニングも）、英語の運用能力を高めていく。そのため、受講者はリーディングに関して単語のチェックなどの予習をすることが求められます。また、講義では様々なタイプの活動（個人、ペアワーク、グループワークなど）を行っていきます。

第1週： 講義の概要説明

第2週～第7週： 各課の学習

第8週： 中間試験

第9週～第15週： 各課の学習

第16週： 期末試験

## 【履修上の注意事項】

1. 積極的に授業に参加してください。自主的、意欲的な学習態度が必要です。
2. 総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。
3. 受講に際しては、教科書、筆記用具、英和・和英辞典を必ず携帯してください。
4. 教室では携帯電話の電源を切ること。
5. 遅刻、私語、居眠り、携帯電話の使用等は授業進行の妨げになるので厳に慎んでください。

## 【評価方法】

出席点20%、平常点30%（宿題・小テスト・レポート・授業への参加度）、中間試験25%、期末試験25%の結果により総合的に評価する。

総授業時数の3分の1以上を欠席すると成績評価は「不可」となります。  
また遅刻2回で欠席1回とみなします。

## 【テキスト】

講師指定の教科書（オリエンテーション時に説明するテキストを大学書店で購入してください）

## 【参考文献】

必要に応じて講義で配布します。

## 英語Ⅳ

担当教員 宮城 和文

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次対象 全学科（水土2）

## 【授業のねらい】

前期「英語Ⅲ」の発展コースとして、比較的長めの英文エッセイにも躊躇することなく対応できるようにReading Skillsのさらなる向上をめざす。くわえて、読んだ内容の概要や読後の感想について、文章にまとめ受講生同士共有しあうことで、扱われている題材の理解深化をめざす。さらに、日々の出来事を英文でつづる“3-line Diary”（仮称：3行日記）を学期を通して課題にし提出することで、一定量の英文を「書く」習慣を身につけることをめざす。

## 【授業の展開計画】

※前期「英語Ⅲ」における受講生の学習状況および学習内容の理解度・到達度等に応じて、下記計画に変更が生じる場合があります。

- 身近な話題を集めたテキスト（選定中）を使用し、600-700語程度で構成されたエッセイを毎週1～2編読み切る。
- 各章に、数人のUnit Leaders（仮称）を割り当て、演習問題などの責任解答者を務めてもらう。
- エッセイに登場した語彙・表現の定着を図るため、毎週ミニクイズを行う。
- 第2回目の講義から、3-line Diary（仮称：3行日記）の提出を開始し、以降開講期間中毎時間提出し検印をもらう。

Week 1: Course introduction / Vocabulary Size Check

Week 2-6: Units / Review Quizzes

Week 7: Mid-term Examination

Week 8-15: Units / Review Quizzes

Week 16: Final Exam

## 【履修上の注意事項】

1. 辞書は毎回持参。電子辞書でもよいが、辞書機能付きの携帯電話などは講義中の使用不可。
2. 時数3分の1を超える欠席は、学則により単位認定できません。
3. 以下の行為は授業運営に悪影響を与えるので厳に慎むこと：遅刻、私語、居眠り、チューインガム、途中離席、携帯電話等の使用など。なお遅刻3回で欠席1とみなす。
4. 開講オリエンテーションには大切な告知が含まれるので、正当な理由なしに初回講座を欠席しないこと。

## 【評価方法】

40%: Examinations

30%: Quizzes

15%: 3-line Diary

15%: Unit Leaders / In-class Contributions

## 【テキスト】

開講日に告知します。

## 【参考文献】

適時講義内で紹介します。

## 英語Ⅳ

担当教員 小橋川 里美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	
16	

## 【履修上の注意事項】

## 【評価方法】

## 【テキスト】

## 【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 仲宗根 朋美

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

## 【授業のねらい】

前期に引き続き、実際にアメリカで報道されたニュースのスク립トを教材化したテキストを用いているが、ニュースの対象が学生に限定されていた前期の内容に比べて、後期は、一般向けのニュースになるため、内容、英語、ともに、難易度が上がる。様々な内容のニュースを読解・視聴していくことで英語の理解力を高め、又、関連する内容を英作文することによって、総合的な英語力を養成することを主な目標とする。

## 【授業の展開計画】

注：授業の進度は、クラス全体の理解度をみながら決めていくので、若干変更の可能性有り。

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Introduction	17	Unit 8
2	Unit 1	18	Unit 8
3	Unit 1	19	Unit 9
4	Unit 2	20	Unit 9
5	Unit 2	21	Unit 10
6	Unit 3	22	Unit 10
7	Unit 3	23	Unit 11
8	Unit 4	24	Unit 11
9	Unit 4	25	Unit 12
10	Unit 5	26	Unit 12
11	Unit 5	27	Unit 13
12	Unit 6	28	Unit 13
13	Unit 6	29	Unit 14
14	Unit 7	30	Unit 14
15	Unit 7	31	Final Examination
16	Mid-term Examination		

## 【履修上の注意事項】

必ず予習をして、辞書を授業に持ってくること（電子辞書可）。  
30分以上遅刻した場合は、欠課とみなし、遅刻3回で1回の欠課とする。  
10回以上欠課した場合は、単位を与えない。

## 【評価方法】

中間テスト、期末テストに加えて授業参加・貢献度を加味し、総合評価を決める。

## 【テキスト】

ABC World News 14（金星堂）

## 【参考文献】

適宜、授業中に紹介する。

## 英語Ⅳ

担当教員 大田 かお里

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 赤嶺 ゆかり

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 糸数 淳子

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金2）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 渡久山 幸功

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語Ⅳ

担当教員 山城 莉乃

対象学年 2年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 2～4年次対象 法律・地行（火金3）、全学科（火金1）

【授業のねらい】

【授業の展開計画】

【履修上の注意事項】

【評価方法】

【テキスト】

【参考文献】

## 英語 V

担当教員 山川 満夫

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 全学科（火木3）

## 【授業のねらい】

ペア活動を中心にしながら、英検2級レベルの総合的な英語力の向上を目指すと共に、オーラルコミュニケーションの育成の指導にも力を入れる。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Quiz, Grammar, Listening & Reading (10)
2	Quiz, Grammar & Listening (1)	18	Quiz, Grammar, Listening & Reading (11)
3	Quiz, Grammar & Listening (2)	19	Quiz, Grammar, Listening & Reading (12)
4	Quiz, Grammar & Listening (3)	20	Quiz, Grammar, Listening & Reading (13)
5	Quiz, Grammar & Listening (4)	21	Quiz, Grammar, Listening & Reading (14)
6	Quiz, Grammar & Listening (5)	22	Quiz, Grammar, Listening & Reading (15)
7	Quiz, Grammar, Listening & Reading (1)	23	スピーチテスト
8	Quiz, Grammar, Listening & Reading (2)	24	Quiz, Grammar, Listening & Reading (16)
9	Quiz, Grammar, Listening & Reading (3)	25	Quiz, Grammar, Listening & Reading (17)
10	Quiz, Grammar, Listening & Reading (4)	26	Quiz, Grammar, Listening & Reading (18)
11	Quiz, Grammar, Listening & Reading (5)	27	Quiz, Grammar, Listening & Reading (19)
12	Quiz, Grammar, Listening & Reading (6)	28	Quiz, Grammar, Listening & Reading (20)
13	Quiz, Grammar, Listening & Reading (7)	29	Quiz, Grammar, Listening & Reading (21)
14	Quiz, Grammar, Listening & Reading (8)	30	Quiz, Grammar, Listening & Reading (22)
15	Quiz, Grammar, Listening & Reading (9)	31	期末テスト
16	模擬テスト		

## 【履修上の注意事項】

- (1) 講義はできるだけ英語を使用しますので、学生も積極的に英語を使うことが望めます。
- (2) 欠席が総授業日数の3分の1以上の場合は不可となり、また、遅刻2回で欠席1回とみなします。
- (3) ペア活動やグループ活動に積極的に取り組む姿勢が望めます。
- (4) 座席は指定された席に座ること。
- (5) できるだけ辞書を持参することが望ましい。

## 【評価方法】

出席状況、授業態度、クイズ、スピーチテスト、模擬・期末テストの結果を総合的に判断して評価する。

## 【テキスト】

授業の中で連絡します。

## 【参考文献】

授業の中で連絡します。

## 英語Ⅵ

担当教員 大城 明子

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 全学科（火金1）

## 【授業のねらい】

4技能の活動を通して英検準一級程度の力を習得できるようにする。

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容	週	授 業 の 内 容
1	Orientation	17	Reading12 & Listening12
2	Reading1& Others	18	Review2 & Others
3	Reading2& Listening1	19	Activity 1
4	Reading3& Listening2	20	Speaking 3 & Others
5	Reading 4 & Listening 3	21	Speaking 4 & Others
6	Reading5& Listening4	22	Reading13 & Listening13
7	Reading6& Listening5	23	Reading14 & Listening14
8	Listening6 & Others	24	Reading15 & Listening15
9	Review1 & Others	25	Reading16& Listening16
10	Speaking 1 & Others	26	Reading17& Listenin17
11	Speaking 2 & Others	27	Reading18 Listening18
12	Reading7 & Listening7	28	Review4 & Others
13	Reading8 & Listening8	29	Speaking 5 & Others
14	Reading9 & Listening9	30	Speaking 6 & Others
15	Reading10 & Listening10	31	Proficiency Test
16	Reading11 & Listening11		

## 【履修上の注意事項】

- 1) 積極的な参加を求めます。
  - 2) 遅刻や欠席をしないでください（毎回の講義参加が重要になってきます）
  - 3) 辞書は持参してください
  - 4) 他細かい注意事項は講義でお伝えします。
- なお、上記の授業の展開計画は状況により変更修正等をおこないますので注意してください。

## 【評価方法】

授業態度、Review等での成果、クイズ等 総合的に評価します

## 【テキスト】

授業でお伝えします。

## 【参考文献】

授業で随時お伝えします。

## 英語Ⅶ

担当教員 クレグ K ジェイコブソン

対象学年 1年

単位区分 選択

開講時期 前期

授業形態 一般講義

単位数 2

準備事項

備考 1～4年次 全学科（月木4）

## 【授業のねらい】

This course is primarily designed to assist students in preparing to take the TOEIC exam.

## 【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	Course Registration and Introduction
2	General Introduction to TOEIC and other proficiency exams
3	TOEIC Listening Skills
4	TOEIC Listening Skills
5	First Mock Exam
6	TOEIC Vocabulary Skills
7	TOEIC Vocabulary Skills
8	Second Mock Exam
9	TOEIC Reading Skills
10	TOEIC Reading Skills
11	TOEIC Listening Skills
12	Third Mock Exam
13	TOEIC Grammar Skills
14	TOEIC Grammar Skills
15	Final TOEIC Exam
16	Course Feedback and Discussion

## 【履修上の注意事項】

Students should note that this class will be taught primarily in English.

## 【評価方法】

Students will be evaluated based on their attendance and how much they improve their TOEIC scores over the course of the semester.

## 【テキスト】

TOEIC テスト新公式問題集Vol. 5

## 【参考文献】

Students are encouraged to purchase additional TOEIC study materials, especially in areas where they need to improve their skills.

## 英語Ⅷ

担当教員 津波 聡

対象学年 1年

単位区分 選択

準備事項

備考 全学科（火木3）

開講時期 後期

授業形態 一般講義

単位数 2

### 【授業のねらい】

Listening, Speaking, Reading, Writing活動を通して、TOEFL500点以上の英語力向上を目指します。

### 【授業の展開計画】

Listening, Reading教材をDiscussionを通して理解を深めていきます。

### 【履修上の注意事項】

遅刻2回で欠席1回と見なします（授業の1/3を欠席した場合単位保留となる）。

### 【評価方法】

授業出席率、テスト、クイズ、提出物を総合的に評価します。

### 【テキスト】

プリントを配布します（学期末にポートフォリオの提出あり）。

### 【参考文献】

授業の中で適宜紹介します。